

令和3年度射水市社会教育委員会議 会議概要

1 開催日時及び場所

令和3年7月28日(水) 午前10時00分～午前10時38分

射水市役所本庁舎会議室401

2 出席者

【委員】

丹羽 康雄委員、岡本 昭彦委員、稲垣 征子委員、朝倉 あゆみ委員、石森 政春委員、

小井 孝子委員、梶尾 啓子委員、藤井 徳子委員、高橋 清美委員

(委員10名中9名出席)

【事務局】

金谷教育長、原事務局長、久々江事務局次長兼生涯学習・スポーツ課長、中川学校教育課長、

北村スポーツ施設整備班長、田中文化財係長、鳥本スポーツ推進係長、藤岡生涯学習係長、川合主事

3 会議概要

(1) 開 会

議長あいさつ

教育長あいさつ

(2) 議事

【審議事項】

射水市社会教育委員会議規則の一部改正について

【説明事項】

令和2年度社会教育主要事業の現況と成果等について

(3) その他

あったか家族応援プロジェクト事業について

(4) 閉 会

4 審議事項について

(1) 射水市社会教育委員会議規則の一部改正について

事務局案を説明し、原案のとおり承認された。

5 説明事項についての質疑・発言

(1) 生涯学習活動事業について

Q 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で生涯学習講座の事業回数や受講者数が減少したとのことだが、令和元年度の実績をお聞きしたい。〔委員〕

A 年間延べ受講者数は33,852人、年間延べ開催回数は942人であった。〔事務局〕

(2) 放課後子ども教室・土曜学習推進事業、児童健全育成事業について

昨今問題とされている子どもの貧困や家庭格差は、放課後の充実により助けることにつながると思っており、自然体験や生活体験といった直接体験の機会を放課後事業で充実してほしいと願っている。各種習い事や塾等で子どもたちが忙しく、教室の参加者が減少していることは残念である。習い事やお稽古事以上に、こうした事業の教室による体験が大事だということを保護者の方々に伝えてほしい。〔委員〕

A 習い事等とは違う良さがあることを伝えながら事業を企画したり教室を増やしたりしていきたい。〔事務局〕